

甲斐市議会決算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 平成29年10月23日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（18名）

委員長	三浦進吾君	横山洋介君
	金丸幸司君	五味武彦君
	金丸寛君	赤澤厚君
	小澤重則君	松井豊君
	清水正二君	斉藤芳夫君
	米山昇君	山本今朝雄君
	長谷部集君	山本英俊君
	内藤久歳君	池神哲子君
	保坂芳子君	樋泉明広君

欠席委員（2名）

副委員長	滝川美幸君	藤原正夫君
------	-------	-------

傍聴議員（2名）

議長	小浦宗光君	監査	有泉庸一郎君
----	-------	----	--------

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	輿石文明
書記	小澤裕一	書記	有野恵理

議題

- 1 平成30年度予算編成に向けての要望について
- 2 その他

開会 午後 2時18分

○書記（輿石文明君） それでは、ご起立願います。

相互に礼。お疲れさまです。

それでは、ただいまから決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、初めに委員長より挨拶をいただきまして、委員長の進行により進めてまいりますのでよろしくお願いたします。

それでは、次第の2、委員長挨拶。

三浦委員長、よろしくお願いたします。

○委員長（三浦進吾君） バイオマス発電事業に続きまして、これから決算審査特別委員会を開会いたしたいと思ひます。

きのう、おとといと台風21号が伊勢湾台風並みの台風というようなことで、大変私も心配したところでございますけれども、何かお話を聞くところによると睦沢地区の停電とか、双葉地区におかれては、道路で土砂が崩落したとか、また河川で大変水路から水があふれたというふうなお話を聞きますけれども、そういう中でも余り大きな被害がなかったふうにお聞きしています。大変そういう中では、台風に対しましては安堵したところでございます。

引き続き、委員会を行います。どうぞご協力よろしくお願いたします。

本日の委員会は、平成30年度予算編成に向けての要望についてご協議をいただきます。よろしくお願いたします。

ただいまの出席委員は18名です。定足数に達しておりますので、これより決算審査特別委員会を開会いたします。

なお、滝川副委員長、藤原委員は欠席の連絡がありましたので、報告いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

○委員長（三浦進吾君） 本日は平成30年度予算編成に向けての要望について、各常任委員会より提出されたものを決算審査特別委員会において協議を行い、決定したいと思ひますのでよろしくお願いたします。

それでは、これより内容に入ります。

(1) 平成30年度予算編成に向けての要望については、各常任委員会において取りまとめしていただきましたので、各常任委員会でまとめた要望書をお手元にお配りさせていただきました。総務教育常任委員長より順次ご報告をお願いし、その後個々に協議していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

それでは、長谷部総務教育常任委員長より報告をお願いします。

長谷部委員長。

○総務教育常任委員長（長谷部 集君） それでは、総務教育常任委員会で取りまとめた2事業につきまして、朗読をもって説明にかえさせていただきます。

1つ目は、職員研修の拡充及び専門職員の採用について。

市町村横並びの研修ではなく、甲斐市独自の研修を計画実施することによって、職員の資質向上、専門知識の習得等を図り、職員の専門性の向上や外部への委託した業務をチェックできる職員を育成し、外部委託の減少につなげていく必要がある。

については、研修機会をふやすための予算計上を行い、職員のスキルアップを図ることを要望する。

また、必要な専門職員の社会人枠採用等を行い、専門分野の充実を図っていくことを併せて要望する。

2つ目です。

小学校の英語教育の向上について。

2020年度から新学習指導要領に基づく小学校の教科として英語の授業が導入され、2018年度より移行期間が始まるので、英語教育を現状より充実させる必要がある。

については、ALT（外国語指導助手）を増員する予算計上を強く要望する。

以上、2事業でございます。ご審議お願いいたします。

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。

次に、五味厚生環境常任委員長より報告をお願いいたします。

五味委員長。

○厚生環境常任委員長（五味武彦君） 厚生環境は全部で5人の方が出されました。

リサイクル回収費の奨励金の増額であるとか、高校生医療費の無料化とか、最後に高齢者医療費というふうな格好になります。そんな中で3人、高齢者医療の削減のための意見が3人出ました。これをまとめたものが3番の要望書になりますので、朗読させていただきます。

「2025年問題」への早期対策の推進についてという形になります。

1つだけになります。

ここ数年、甲斐市の高齢化率は年々1%ずつ増加している。

まもなく訪れる団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者に達し、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上になり、介護・医療費等社会保障費の急増が懸念される「2025年問題」に対応するため、高齢者を地域で支え合う仕組みづくりなど早期の対策が必要となっております。

については、（1）地区老人クラブやいきいきサロンへの補助金の増額、（2）認知症カフェの増設に向けた予算の確保、（3）民生委員やボランティア団体など高齢者を支える方々への積極的な支援体制を要望いたします。

以上でございます。

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。

次に、藤原建設委員長が欠席のため、金丸寛建設経済常任副委員長より報告をお願いします。

○建設経済常任副委員長（金丸 寛君） 建設経済委員会では、1点の要望でございます。

河川・水路の改良及び補修工事について。

市内の水路はもともと田んぼに対応した設計を基本としている。

そのため、近年の集中豪雨に対し住宅がふえたことにより、今まで田んぼで緩和されていた雨水は水路の許容を超え溢れることが多く、浸水リスクや水難リスクが高まっている。

また、多くの水路は地方病対策としてつくられたものが多く、水路の老朽化に対する対策を段階的に計画していく必要がある。

については、早急に対策を講ずるための予算の確保を要望する。

以上でございます。

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。

それでは、1項目ずつ質疑等を行い、決定していきたいと思います。

まず、1、職員研修の拡充及び専門職員の採用について質疑等がありましたらお願いします。ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（三浦進吾君） ないようですので、それでは、職員研修の拡充及び専門職員の採用についてお諮りします。別紙要望書により提出することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） ご異議なしと認めます。

よって、職員研修の拡充及び専門職員の採用については、別紙要望書のとおり提出することに決定しました。

次に、2、小学校の英語教育向上について、質疑等がありましたらお願いします。

〔発言する者なし〕

○委員長（三浦進吾君） ないようですので、それでは、小学校の英語教育向上についてお諮りします。別紙要望書により提出することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） ご異議なしと認めます。

よって、小学校の英語教育向上については、別紙要望書のとおり提出することに決定しました。

次に、3、「2025年問題」への早期対策の推進について、質疑等がありましたらお願いします。

〔発言する者なし〕

○委員長（三浦進吾君） ないようですので、それでは、「2025年問題」への早期対策の推進についてをお諮りします。別紙要望書により提出することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） ご異議なしと認めます。

よって、「2025年問題」への早期対策の推進については、別紙要望書のとおり提出することに決定しました。

次に、4、河川・水路の改良及び補修工事について、質疑等がありましたらお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） ないようですので、それでは、河川・水路の改良及び補修工事についてお諮りします。別紙要望書により提出することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） ご異議なしと認めます。

よって、河川・水路の改良及び補修工事については、別紙要望書のとおり提出することに決定しました。

次に、前文について協議をお願いします。

事務局に朗読していただきます。

興石係長。

○書記（興石文明君） 資料の1ページをお願いいたします。

朗読させていただきます。

甲斐市議会においては、昨年度に引き続き、決算審査特別委員会での審査を基に、「平成30年度予算編成に向けての要望書」を提出することとなりました。

平成28年度決算において、歳入では、地方交付税について、前年度と比較して0.5%の減となっており、合併後の経過措置である激減緩和期間を経て、平成32年度には、本来の一本算定の額が交付されることとなり、減額が予想されています。

また、歳出では、人件費、扶助費、公債費などの経常的経費が、前年度より1.4%増加しており、少子高齢化の進展などにより、今後の財政運営は一層厳しさを増すものと見込まれ、変化に対応した事業の取捨選択と整理統合により、計画的な事業の推進が必要となっています。

決算審査特別委員会では、決算審査等が出された意見を踏まえ、各常任委員会から提出された新年度予算への要望に対して、本委員会において意見の一致をみました4事業について、要望をさせていただくことといたしました。

については、本要望等を参考にさせていただき、見直すべきものは見直し、より効果的な新年度予算編成に取り組まれることを願うものであります。

甲斐市議会、決算審査特別委員会。

委員長、三浦進吾。

以上です。

○委員長（三浦進吾君） それでは、前文についてお諮りします。別紙要望書の内容でご異議ございませんか。

〔「委員長、いいですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） 五味委員。

○委員（五味武彦君） ちょっとこの中で最後のところですけども、については本要望等を参考にさせていただき、見直すべきものは見直しという、これは具体的にどういうことを指しているんでしょうかね、特に理由はなく。

○委員長（三浦進吾君） 当局の答弁を求めます。

興石係長。

○書記（輿石文明君） すいません。最後の部分につきましては、昨年度と同様のうたい方となっております。

○委員（五味武彦君） じゃ、結構です。

○委員長（三浦進吾君） ほかにございますか。なければ……。

内藤委員。

○委員（内藤久蔵君） それについては要望するという事だから、見直すべきというよりもダイレクトに要望するだけでいいんじゃないですかね。すきっと、ね。

〔「思うよ、これ、要望しますで」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） どうですか。

お諮りします。今の……。

〔「要望いたしますで」と呼ぶ者あり〕

〔「要望します」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） ただいま内藤委員のご意見を拝聴した中で、ここでちょっとじゃ一番仮名を読みます。

ついでには本要望等を参考にさせていただき、より効果的な新年度予算編成に取り組まれることを要望します、要望するでもいいや。要望するのがいいですか。要望いたします。

〔「そういう形でいいです」と呼ぶ者あり。〕

○委員長（三浦進吾君） じゃ、そのようにさせていただきます。

ほかにございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） じゃ、ご異議なしと認めます。

よって、前文については別紙の要望書のとおり決定しました。

なお、要望書の提出については委員長一任でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） それでは、そのようにさせていただきます。

以上で平成30年度予算編成に向けての要望についてを終わります。

次に、2、その他に入ります。

議長よりありましたらお願いします。

○議長（小浦宗光君） なし。

○委員長（三浦進吾君） ない。

委員の皆さんからございましたら。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） 事務局ございましたら。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） ないようですので、以上でその他を終わります。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了しました。

これをもちまして、決算審査特別委員会を閉会します。

ご苦労さまでした。

○書記（輿石文明君） ご起立願います。

相互に礼。

お疲れさまでした。

閉会 午後 2時34分